

国家戦略特区における 自動走行プロジェクトについて

DeNA

Dec 12, 2016

株式会社ディー・エヌ・エー
取締役会長 南場 智子

国家戦略特区における自動走行実証実験の取組

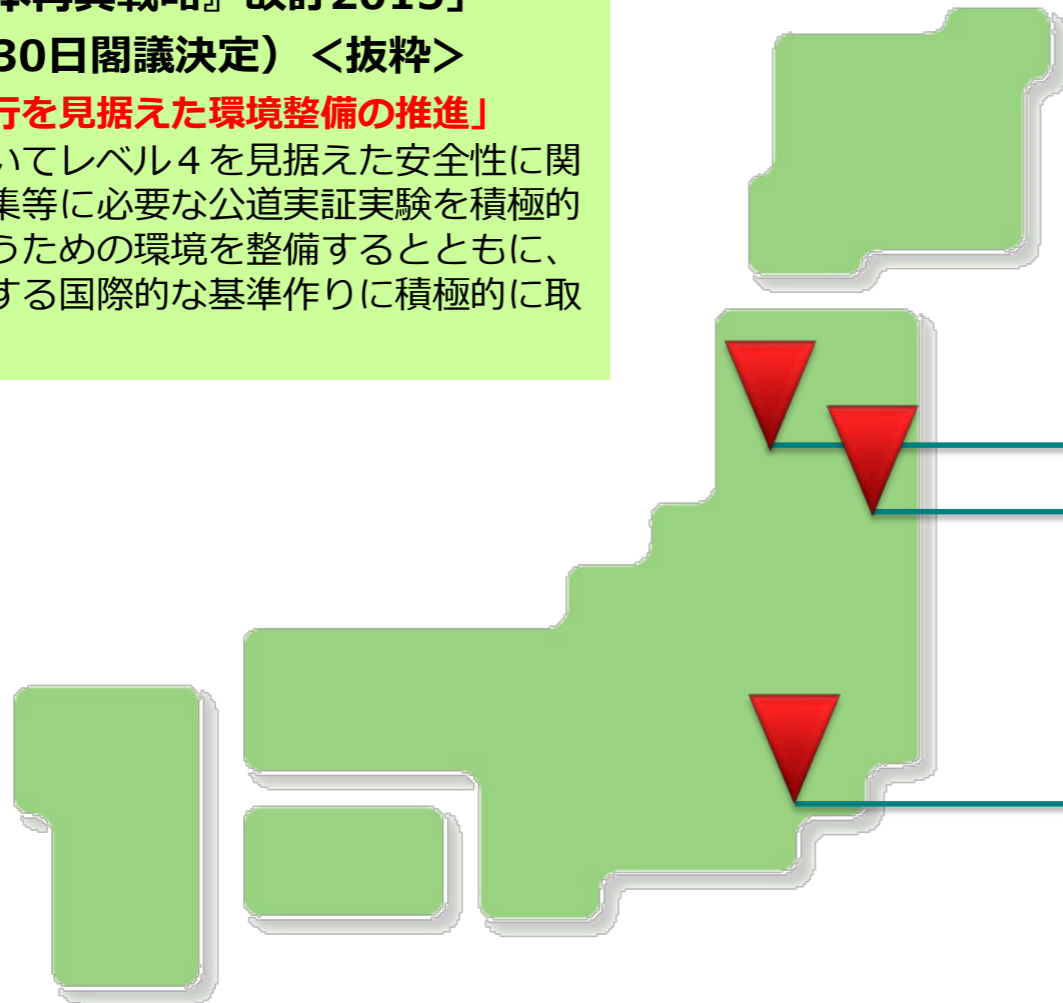
- 「『日本再興戦略』改訂2015」にて決定された、国家戦略特区における自動走行にかかる施策に基づき、下記3箇所において「国家戦略特区プロジェクト」として、自動走行の実証実験を実施。

「『日本再興戦略』改訂2015」

(6月30日閣議決定) <抜粋>

「完全自動走行を見据えた環境整備の推進」

特区等においてレベル4を見据えた安全性に関するデータ収集等に必要の公道実証実験を積極的かつ安全に行うための環境を整備するとともに、自動走行に関する国際的な基準作りに積極的に取り組む。



■ 仙北市



■ 仙台市



■ 神奈川県 (藤沢市)



特区	時期	概要
神奈川県	2016年2月	日本で初めて一般モニターを乗せて自動走行
仙台市	2016年3月	被災地において自動走行
仙北市	2016年11月	日本で初めて無人運転自動走行車両が公道を走行

「2020年・完全自動走行サービス開始」を実現するために

◆現状・課題

- 「国家戦略特区のプロジェクト」は、他の地域とは異なり、強いリーダーシップと地域の安全・安心に強い責任感を持つ自治体（首長）とタッグを組んで進める、大変有意義なもの
- しかし、その「特区プロジェクト」ですら、「公道での実証」というだけで、場所・時間の限定など、多くの制約が課せられ、さらに、関係機関との事前調整に煩雑な手続きを要している
- この状況では、政府が示している「2020年の完全自動走行サービスの開始」には不安が残る

◆解決の方向性

少なくとも、強いリーダーシップと責任感を有する首長と共に進める「国家戦略特区のプロジェクト」については、事前規制や調整を原則必要としない形で実証実験を行える仕組みの創設をお願いしたい。

これによって、地域の人手不足解消や、高齢者の交通事故低減などの社会課題の解決につなげていきたい。